大会発表論文チェックリスト

**大会発表原稿について、以下の点が守られているかを確認してください。守られている場合には、□に✓を入れてください。**

□ 事例や実践報告などを発表する場合は、対象者や関係する責任者の承諾を得ている。

□ 氏名はイニシャルではなく、A氏、B氏といった任意のアルファベットを用いている。

□ 年齢は「○○歳代」という形で記載している。例えば「34歳」の場合、「30歳代前半」と記載している。

□ 事例や実践報告などの場合、特定の年月日はアルファベットを用いて記載している。例えば、「2000年4月」であれば、「X年Y月」と記載している。

□ 個人が特定される内容は、原稿等の内容に影響しない範囲で抽象化するなど、個人が特定されないような配慮をしている。

□ 調査及び共同研究に係る発表の場合、調査及び共同研究等の協力者、関係機関などの承諾を得ている。また、結果について必要に応じてフィードバックを行っている。

□ 事例を発表する場合の事例は、発表者自身が関わった事例である。また、発表者が関わっていない事例を発表する場合、その理由が原稿中に明記されている。

□ 共同研究発表の場合、共同研究発表者を適切な方法で表記している。

□ 発表論文は、未発表の内容である。過去に発表・投稿、もしくは現在投稿中の内容ではない。

□ 発表原稿は、研究論文としての最低限の体裁を整えており、「考察は当日報告する」などの表現は使用されていない。

□ 発表のために収集されたデータや事例は、各自で責任をもって管理・処分されている。

**以上のチェック項目に関して間違いなく遵守していることを確認した上で、署名をしてください。**

日付　　　　　　　年　　　　月　　　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　署名